

2月23日(月)～27日(金)まで蔵書点検のため、図書館は臨時休館します。

蔵書点検とは、お店でいう棚卸し作業のことで、図書館にあるおよそ12万点の資料(本や雑誌、CD、DVDなど)を1点ずつ蔵書目録データと照合し、確認を行います。ご理解、ご協力をお願いします。
※児童館・歴史民俗資料館は、通常どおり開館しています。



新着コーナー

◇一般書◇

『九年前の祈り』

小野正嗣 著/講談社

35歳になるさなえは、幼い息子をつれて海辺の小さな集落に戻ってきた。息子を持って余しながら、さなえが懐かしく思い出したのは、9年前の「みっちゃん姉」の言葉だった…。

『ご破算で願いましたは』

梶よう子 著/新潮社

間口二間の小さな雑貨屋「みとや」。しっかり者のお瑛は、頼りない兄が仕入れてくる困った品々に、てんてこまい。兄妹の凹凸コンビが活躍する、ちょっと切なくて、でも心が晴れやかになる下町よろず屋繁盛記。

『田舎の刑事の好敵手』

滝田務雄 著/東京創元社

県警本部主席監察官の来訪の報せに大慌ての田舎の刑事たち。実はこの監察官は黒川刑事の高校時代のライバルだったのだが、致命的な欠点があり…。個性的な刑事たちが右往左往する脱力系警察ミステリー。

『旅者の歌 2』

小路幸也 著/幻冬舎

『峠しぐれ』

葉室麟 著/双葉社

『蒙古襲来』

服部英雄 著/山川出版社

『農家が教えるイチゴづくり』

農文協 編/農山漁村文化協会

◇児童書◇

『やっぱりノミタくん!』

ヘレン・ステューヴンズ さく、

せなあいこ やく/評論社

おうちもないし、名前もない。いっしょにいるのは、たくさんのノミだけ。そんなひとりぼっちの犬に、ともだちができた!ノミだらけのノミタくんは、しあわせになれるかな?

『どうしてトウモロコシにはひげがあるの?』

藤田智 著/少年写真新聞社

ピーマンにいろんな色があるのはどうして?メロンのあみ目ってなに?トウガラシはどこがからいの?やさいには知られていないひみつがいっぱい!やさいの不思議となぞにせまります。

『へえこいたのだれだ?』

野村たかあき え、平田昌広 さく

/くもん出版

ぶ〜う。あれれ…?なんだかにおうぞ。だれだ?おならしたやつは…!暗闇の中で小鬼の3兄弟がおならをめぐる言い争いをはじめました。すると今度は、へ〜っくしょん!犯人はいつたい…。

『仙人のおしえ』

おざわとしお 再話、かないだえつこ 絵/くもん出版

『ふしぎなにじ』

わたなべちなつ さく/福音館書店

『巨大隕石から地球を守れ』

高橋典嗣 著/少年写真新聞社

『宇宙への夢、力いっぱい!』

若田光一、高橋うらら 著/PHP研究所

展示コーナー

一般テーマ 『家計を見直そう』

増税に備えて、家計を見直し、少しでも無駄遣いをなくしたいと思っている方も多いのではないのでしょうか。“備えあれば憂いなし”ということで、節約に役立つ本を集めました。

児童テーマ 『ネコ』

2月22日はネコの日です。元気なネコ、よくばりなネコ、さみしがりやのネコ…いろんなネコの出でる本を集めました。

おはなしの会

日時 2月7・14・28日(土) 午後2時～

場所 図書館内・おはなし室

読みきかせの会

日時 2月22日(日) 午前10時30分～

場所 図書館内・おはなし室